

# 新・豊田市100年の森づくり構想策定記念シンポジウム 開催報告

## ○開催日時

平成31年2月16日(土) 13:30～16:15

## ○開催場所

J A あいち豊田本店 2階 ふれあいホール

## ○開催目的・趣旨

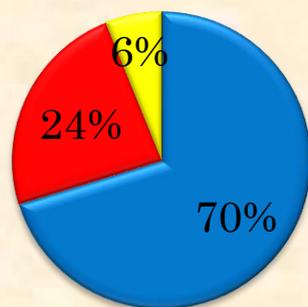
2018年3月に策定した「新・豊田市100年の森づくり構想」(豊田市の新たな森づくりのスタート)の報告・周知。また、山間部のみならず、普段森林に関わりの少ない都市部の市民への関心向上。

## ○開催内容

- ・開会挨拶 産業部長 前田 雄治
- ・報告 (新・森づくり構想の紹介) 森林課 担当長 鈴木 春彦
- ・基調講演 (自然に近づく森づくり、自然に倣う森づくり) 作家 浜田 久美子
- ・基調講演 (生命とは何か～生命科学から森への招待～) 生物学者 福岡 伸一
- ・閉会挨拶 豊田市長 太田 稔彦

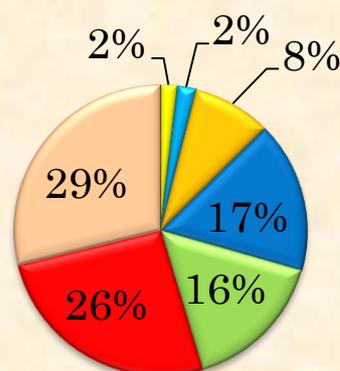
## ○参加者

約370名



### 【参加者内訳】

- 市内参加者数 255人
- 県内参加者数 86人
- 県外参加者数 22人



### 【年代別割合】

- 20未満 6人
- 20代 7人
- 30代 29人
- 40代 56人
- 50代 53人
- 60代 86人
- 70以上 96人

## ○参加者意見

- ・講演はどちらも興味深かった。豊田市の構想についても理解できた。一市民として、どのように森づくり構想に参加できるか考えるいい機会だった。
- ・平成の大合併や中核製材工場の誘致などは知っていたが、具体的なビジョンはわかっていなかった。今日のシンポジウムはとても参考になった。
- ・浜田先生の話は、自分自身が東海豪雨に関心をもって勉強したこと、通じている話でうれしく感じた。今後の森づくりに期待。
- ・新・森づくり構想のシンポジウムになぜ福岡先生？と来るまでは疑問だったが、話を聞いて腑に落ちた。変わらないために少しずつ変わり続ける「動的平衡」と、間伐が結び付いた。
- ・豊田市にしながら、福岡先生の話聞くことができ、幸せな市民。こんな素晴らしい企画なのだから、もっと周知してたくさんの市民に聞いてもらえると良かった。
- ・実務的な森の話(計画)と、哲学的な福岡先生の話のミックスが面白く、いい企画だった。
- ・新・構想の方針どおりの森林を創造してほしい。林業労働者の社会的地位の向上、収入の大幅なアップの実現を望みたい。
- ・近自然森づくり(スイスフォレスター)の話が大変興味深かった。日本でもフォレスターが育つとよい。スイスの取組がこれからの森づくりに参考になればよいと思った。
- ・森について、日頃考えてなかったが、スイスの話や豊田市の森林面積が広いこと、豊田市の森林行政の取組が全国的に有名ということは市民として誇れることだと思った。



開会挨拶 産業部長 前田 雄治



閉会挨拶 豊田市長 太田 稔彦



会場の様子



報告 森林課 担当長 鈴木 春彦



基調講演 作家 浜田 久美子



基調講演 生物学者 福岡 伸一



【ブース出展】

森林課・愛知県・豊田森林組合・岐阜県立森林文化アカデミー